

備前市施策評価シート

(平成22年度事業)

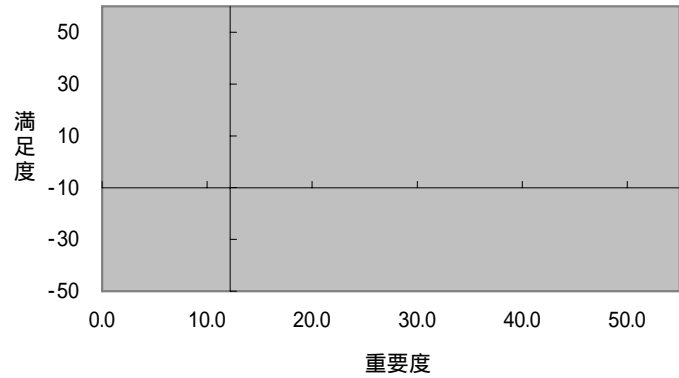
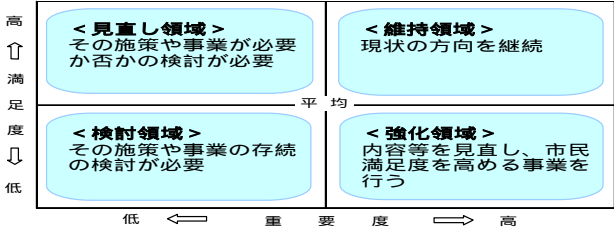
施策名 (小項目)	成人保健(歯科保健含む)	コード	02-02-02	作成者	保健課長
		役職		氏名	有吉隆之
		電話	64-1819	このシート作成に要した時間	1.0 時間

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	基本施策(中項目)	健やかで生き生きしたまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	生活習慣病を予防し、健康的な生活習慣実践を普及する。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	自分の健康に気をつけている市民の割合は、平成20年90.9%、平成21年88.5%、平成22年89.3%、平成23年88.8%と概ね9割で高いものとなっている。市民一人ひとりが生活習慣を見直すとともに、健康診査を受け、心疾患、脳血管疾患などの危険因子とされる糖尿病、高血圧症、高脂血症の早期発見や予防に努める方向に普及、啓発を図らなければならない。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 各種成人病健康診査 健康教室、健康相談などによる保健指導 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H20	H21	H22	H23
重要度(%)				
満足度(%)				



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 [調査対象でない施策は、市民の反応等]
 健康づくりに関するアンケート項目では、健康診査を毎年受けている市民の割合は、平成22年74.2%であったが、平成23年70.7%と少し減少した。また、週2日以上運動をしている人の割合は、平成22年25.6%から平成23年26.6%と増え、たばこを吸っている人の割合は、19.0%から18.6%とわずかではあるが減少している。平成22年からの調査項目であるので、もう少し推移を見守っていく必要がある。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H20	H21	H22		H23	H28
成果指標 自分の健康に気をつけている市民の割合	目標	%	93.0	93.0	93.0	H23	95.0
	実績	%	88.5	89.3	88.8	H28	95.0
	達成率	%	95.2	96.0	95.5	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 婦人がん検診受診率	目標	%	30.0	30.0	30.0	H23	30.0
	実績	%	19.3	21.5	20.8	H28	30.0
	達成率	%	64.3	71.7	69.3	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 特定健診 肥満気味・肥満者の割合	目標	%	20.0	20.0	20.0	H23	20.0
	実績	%	26.3	24.9	22.8	H28	20.0
	達成率	%	131.5	124.5	114.0	-	-
	ベンチマーク						
参考指標 特定保健指導実施率	目標	%	30.0	30.0	35.0	H23	45.0
	実績	%	16.8	14.2	14.5	H28	45.0
	達成率	%	56.0	47.3	41.4	-	-
	ベンチマーク						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)										施策への貢献度	
				平成20年度				平成21年度			平成22年度				平成23年度
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	当初予算(直接事業費)		
1 各種検診事業	B	子宮がん検診事業	法定	4,247	1,010	0.22	4,941	1,771	0.27	5,046	2,242	0.35	6,267		
		乳がん検診事業	法定	5,120	1,501	0.29	6,680	2,509	0.39	6,237	2,968	0.48	8,214		
		胃がん検診事業	法定	6,059	1,514	0.23	5,779	1,895	0.30	5,225	1,804	0.30	6,180		
		大腸がん検診事業	法定	3,914	1,364	0.27	4,473	1,434	0.23	4,263	1,253	0.21	4,739		
		肺がん検診事業	法定	3,251	1,345	0.27	1,592	1,574	0.24	1,428	2,160	0.34	1,889		
		前立腺がん検診事業	単市	1,722	451	0.10	1,659	243	0.04	1,419	197	0.03	1,921		
2 健康増進事業	B	健康教育事業	法定	322	3,692	0.57	325	5,030	0.75	9,562	6,235	0.87	462		
		健康相談事業	法定	1,157	2,025	0.30	1,079	3,051	0.47	236	2,449	0.35	259		
		健康診査事業	法定	2,678	1,224	0.17	2,756	1,265	0.20	3,433	1,129	0.16	3,220		
3 特定保健指導事業	C	特定保健指導事業	法定	0	4,294	0.69	0	4,341	0.68	0	2,797	0.42	0		
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度					
				28,955	18,740	3.19	29,375	23,295	3.60	36,928	23,359	3.53	33,374		

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
介護福祉課	健康教育事業・健康相談事業	65歳以上の市民の健康づくりは介護予防事業(地域支援)として実施している。
保健課 保険医療係	特定健診	国保40~74歳を対象とした健診を受診した人のうちメタボの予防及び改善の必要な人に対して特定保健指導事業を実施している。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
<成果指標の妥当性> 1 施策の目的・成果を表現しているか?	4	成人保健については、生活習慣病の予防が重要となるが、そのためには本人の認識と取組みが基本となり、本指標はそれを表している。	
<事業構成の妥当性> 2 手段は最適か?	4	生活習慣病を予防するため健康診断事業を中心にすえ、各種事業を構成している。(平成20年からは国保事業である特定保健指導を実施するなど、事業体系を変更している。)	
<施策の有効性> 3 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	元気で高齢期を迎えるための施策であるが、一方、医療費の増加に歯止めをかける効果も期待されている。	
進行年度(H23年度)の取組内容(課題解決状況)		各種検診について、受診し易い体制づくりや勧奨を行い、受診率の向上を図る。H24年度の各種検診の実施方法について、受診率向上に向けた検討を行う。特定保健指導について、積極的に勧奨を行っていく。	
翌年度(H24年度)の取組目標		各種検診について、受診し易い体制づくりや勧奨を行い、受診率の向上を図る。特定保健指導について、積極的に勧奨を行っていく。	
二次評価者コメント		死亡原因の1位であるがん検診等について、早期発見、早期治療のため、受診率の向上が図れるような環境の整備を検討すること。また、特定保健指導については、保険者と連携し、実施率の向上に努めること。	
役職	保健福祉部長		
氏名	金光 亨		
		基本施策への貢献度 4 やや高い	